

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 9 日

社会福祉法人太田福祉記念会

理事長 太 田 三知子 様

社会福祉法人太田福祉記念会

監事

柳 沼 莞 爾

監事

安 田 洋 子

令和 7 年 5 月 9 日、玉川ホームにおいて、令和 6 年度理事職務執行に関する監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受けました。必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

さらに当該会計年度の事業報告及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度の計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

（1）計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ① 必要書類は、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況等全ての重要な点を適正に表示しているものと認めます。
- ② 財務について、特別養護老人ホームでは新型コロナウイルス感染症等のクラスターが発生したものの、稼働目標をほぼ達成し事業収入は昨年度と比較して増加した。また、施設整備を計画的に進め、利用者の快適な環境を確保するとともに、毎年の補助金活用の成果も表れ、良好な財務状況であると認められる。事業再編に伴い、経営状況を注視してほしい。

（2）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 介護サービスの質向上に向け、感染症対策研修やグリーフケア研修などに取り組んでいるほか、介護員コールシステム更新による業務効率化を進めるなど、法人理念の実現に向け適正に運営が行われているものと認めます。介護員をはじめとする人材不足は深刻であるが、幅広い方法で募集を継続するとともに、職員のストレスが増加していないか分析することを望みます。デイサービス事業は、市内事業所の増加により競争が激化しているが、地域のニーズに応じた事業への変化と継続、また、地域包括支援センターの廃止後も湖南地区の福祉サービスの維持を望みます。また、面会方法にバリエーションをもたせるなどの検討を望みます。